

「第三回 妖怪画大賞」作品募集が開始

妖怪をテーマにした絵画コンテスト 開催にあたって審査員長のコメントを公開

応募期間:2026年10月1日(木)～12月4日(金)

妖怪美術館(香川県・小豆島／館長:柳生忠平)は、妖怪をテーマとした公募の絵画コンテスト「第三回 妖怪画大賞」の作品募集を2026年10月1日(木)より開始しました。作品の募集は12月4日まで。

「妖怪画大賞」は、妖怪を題材とした創作作品を広く募集し、妖怪の持つ豊かな想像力や表現の可能性を発掘・紹介することを目的とした絵画コンテストです。第三回となる今回は、アナログ部門とデジタル部門の2部門を設け、多彩な作品を募集します。



「第三回 妖怪画大賞」概要

- ・主催:小豆島・迷路のまち 妖怪プロジェクト実行委員会、妖怪美術館
- ・協賛:HUION
- ・協力:小豆島ヘルシーランド株式会社、小豆島・迷路のまちアートプロジェクトMeiPAM
- ・後援:土庄町・土庄町教育委員会、小豆島町、小豆島教育委員会、一般社団法人 小豆島観光協会
- ・募集期間:2026年10月1日(木)～12月4日(金)
- ・最終審査会:2027年2月21日(日)に開催のイベント「YOKAI EXPO 2027」で実施
- ・妖怪画大賞公式ホームページ:<https://meiro-yokai.com/painting>

妖怪画大賞について

妖怪は、古来より日本人に馴染みが深く、今では漫画やアニメ、ゲームなど、さまざまなカルチャーの元となっています。その妖怪をテーマにした作品を募集する妖怪画大賞は、「妖怪を描く」という創作活動を通して、人々の想像力や表現力を育むことを目指すコンテストです。プロ・アマチュア問わず作品を募集し、今を生きる人々の想像力から生まれる、新たな妖怪表現を発掘・顕彰します。

これまでの開催では全国から合計327点の応募があり、現代ならではの妖怪たちが数多く誕生しました。第三回ではデジタル部門を新設し、アナログ・デジタル双方の表現を受け入れることで、妖怪アートに親しむ人の裾野をさらに広げ、より多くのクリエイターが参加できる公募展として開催します。

審査員長からのコメント

「第三回妖怪画大賞」の作品応募開始に際して、審査員長である柳生忠平から以下のコメントが届きました。

【第三回妖怪画大賞 開催にあたって】

第三回となる「妖怪画大賞」が、いよいよ始まります。第一回、第二回と、たくさんの作品を拝見してきましたが、そのたびに驚かされるのは、「妖怪」という存在が、今を生きる人たちの中で、まだまだ新しく生まれ続けているということです。

妖怪というと、昔から伝わるもの、古い時代のものというイメージを持つ方もいるかもしれませんが。しかし、妖怪作品のコンテストを開催すると、その度に、仕事や人間関係、SNS、社会問題、環境問題、日常の小さな違和感など、まさに「今」を生きているからこそ表現された妖怪がたくさん集まってきます。

私自身、妖怪美術館の館長であり、妖怪画家として20年以上、妖怪を描き続けています。それでも、皆さんの作品を拝見するたびに、「こんな妖怪がいたのか」「そんなところに目をつけるのか」と、何度も驚かされます。

自分の知らない場所で、自分の知らない暮らしをしている人たちが、それぞれの目で世界を見て、そこから新しい妖怪を生み出している。そのことが、とても面白く、そして嬉しく思います。

第三回となる今回は、HUION様の協賛を受け、新たに「デジタル部門」を設けます。皆さんが今見ている世界、日々の暮らしの中でふと感じた「なんだろう？」を、思いきり妖怪にしてみてください。

皆さんの自由な発想から生まれた「誰も見たことがない妖怪」に出会えることを期待して。たくさんのご応募を、心よりお待ちしております。

令和八年十月吉日

審査員長 | 妖怪美術館館長・柳生忠平



審査員長: 柳生忠平(妖怪画家・妖怪美術館館長)

【その他の審査員】



平良志季(日本画家)



たかいよしかず(絵本作家)

【応募要項について】

応募要項について、詳しくは妖怪画大賞公式ホームページ(<https://meiro-youkai.com/painting>)をご覧ください。

【賞について】

- 大賞 1点:賞金 10万円
- 優秀賞 1点:賞金 5万円
- HUION賞 デジタル部門の中から1点:液晶タブレット「Kamvas 13 (Gen 3) コスモブラック」
- キッズ賞(小学6年生以下対象)1点:柳生忠平 特製ミニ色紙 + 図書カードNEXT(3,000円分)
- 柳生忠平賞 1点:柳生忠平 特製色紙
- 平良志季賞 1点:平良志季 特製色紙
- たかいよしかず賞 1点:たかいよしかず 特製色紙

・大賞・優秀賞およびその他の審査員賞は、アナログ部門、デジタル部門どちらも対象になります。
・入賞の有無に関わらず、すべての出品者に参加賞として「妖怪美術館の入館ペアチケット」を贈呈します。

【審査の結果発表について】

2027年1月に最終審査会へ進めるファイナリスト作品を、プレスリリース等で発表。2027年2月21日(日)に小豆島で開催するイベント「YOKAI EXPO 2027」の会場内の展示。その場で最終審査会を行い入賞者を決定します。



YOKAI EXPOの会場の様子



第二回妖怪画大賞ファイナリストの展示

昨年開催の「第二回 妖怪画大賞」に関する記事はこちら

- ・「第二回妖怪画大賞」グランプリは「妖怪すりすり」に決定！
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000278.000005189.html>
- ・応募総数122点から「第二回妖怪画大賞」ファイナリスト決定！
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000263.000005189.html>
- ・自由な発想で妖怪を描くコンテスト「第二回妖怪画大賞」10月1日より作品応募受付がスタート！
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000245.000005189.html>
- ・第二回 妖怪画大賞 ギャグ漫画家・和田ラヂヲ氏を特別審査員に決定！
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000244.000005189.html>
- ・第二回 妖怪画大賞実施決定！ <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000225.000005189.html>

【妖怪美術館とは】

香川県・小豆島の迷路のまちで1000体をこえる妖怪造形作品や絵画作品を展示・保管する美術館。まちの中に点在する4つの古民家をスマホガイドアプリを使いながらめぐり、最後にはアツと驚く秘密の仕掛けが。妖怪の起源から現代の妖怪まで楽しく学びながら鑑賞することができる。館長は小豆島生まれの妖怪画家・柳生忠平。

「妖怪(=YOKAI)を世界へ」

不条理な出来事を受け止めながらしなやかに生きる姿勢は、多様性のある社会にささやかな調和をもたらします。そんな寛容さを育む妖怪文化が広がれば、世界はいまより少し平和になるかもしれません。妖怪美術館は妖怪を通して、日本に息づく多様性と寛容の精神を世界へ届けていきます。

妖怪美術館 香川県小豆郡土庄町甲398 0879-62-0221 mail@meipam.net

【運営会社：小豆島ヘルシーランド株式会社とは】

小豆島ヘルシーランド株式会社は、瀬戸内・小豆島を拠点に、オリーブの栽培をはじめ、“生命の樹”と呼ばれるオリーブをまるごと活かし、心と体を健やかにする商品の研究開発・製造・販売を行っています。誰もが人生百年、いつまでも心身ともに若々しくあり続ける「百年常若(ひゃくねんとこわか)」の実現を目指し、オリーブの力で社会に貢献したいと考えています。近年では、「Longevity<ロンジェビティ(健康長寿)>」の考え方を軸に、心と身体、そして文化的な豊かさを含めた持続可能なライフスタイルの提案を行っています。

※「百年常若」は当社が提唱する概念です。

社名：小豆島ヘルシーランド株式会社
所在地：香川県小豆郡土庄町甲2721-1
代表取締役社長：柳生敏宏
設立：1985年
HP：<https://shl-olive.co.jp/>